



第26回沖縄振興審議会総合部会専門委員会 資料  
沖縄が目指すべきブルーエコノミーの方向性

合同会社デロイト トーマツ  
2026年5月13日

# ブルーエコノミーは、その特徴や推進環境を活かし、沖縄が日本全体の推進を先頭に立ってリードしていくべきアジェンダである

## 沖縄にとってのブルーエコノミー推進の意義

### コンセプトの先進性と 沖縄県政の先進性

- ブルーエコノミーは特に国内において新規性の高い先進的な産業コンセプトに位置付けられる
- その中で沖縄県は、2022年5月に決定された「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画（沖縄振興計画）」において、ブルーエコノミーの先導的な展開を他に先駆けて掲げている

### 沖縄ならではの 特徴の優位性

- 沖縄は、広大な海域に指定離島を含めた多数の島々が点在する海洋島しょ圏を誇っている
- 海に四方を囲まれた海洋国家・日本の縮図とも言える地形的特徴を単一県の中に内包しており、我が国のブルーエコノミーを先導するに相応しい優位性を備えている

### GW2050 PROJECTS による県内経済界の 機運の高まり

- 県内経済界を中心に発足したGW2050 PROJECTS推進協議会が2025年5月に公表した「GW2050グランドデザイン」において、産業成長に向けた「沖縄らしい新たな産業テーマ」の一つとしてブルーエコノミーが掲げられた
- 那覇空港の機能強化と、今後返還が予定される那覇港湾施設、牧浦補給地区、普天間飛行場周辺エリアとの相乗的な発展を目指し、今後の産業創出への動きが期待される

沖縄は我が国におけるブルーエコノミーを先頭に立って具現化しうる特徴や推進環境を有している  
日本の先行モデルとなりうる「沖縄発未来型ブルーエコノミー拠点」を目指すべき

# 1. ブルーエコノミーの概要

# 世界的な人口増・経済成長を支える供給フィールドとして重要性を増す「海洋」 ブルーエコノミーの世界市場は急速な拡大が見込まれる

## 日本の成長フロンティアたりうる海洋領域

海洋事業開発において目指すべき世界観＝ブルーエコノミー

地球と人類のサステナビリティに向け、世界が抱える課題・要請に対し、  
陸を補完する供給源として、海洋資源の持続可能な事業活用を推進する

事業開発

世界的な人口増、経済成長を支える**供給の拡大**

× 同時追求

サステナビリティ

持続可能性の実現に向けた**海洋環境変化対応、脱炭素、生物多様性、人権保護、サーキュラーエコノミー化**

動き始めている具体テーマ（支援案件実績）

- ・ 漁業・養殖（海洋環境変化対応、スマート水産、漁業・養殖DX）
  - ・ 造船（代替燃料船開発、造船技術DX）
  - ・ 海上輸送（モーダルシフト推進、水上/水中ドローン導入）
  - ・ 港湾（港湾DX、モーダルシフト対応、外客誘致対応、ゼロカーボン対応）
  - ・ 再生可能エネルギー（洋上風力、浮体式太陽光、波力・潮力）
  - ・ まちづくり（海業、沿岸再開発、海洋実証フィールド形成）
  - ・ 海洋新規事業創出（海洋領域における事業機会探索・事業化）
- ※海藻・ブルーバイオ案件など、他テーマもバランスよく創出され始めている

世界

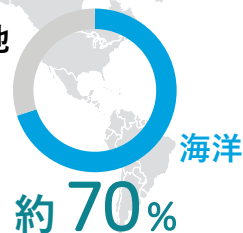
ブルーエコノミー  
世界市場規模推定

地球全体に  
占める海の表面積

現在は  
約270兆円



陸地



日本の技術力を活かし  
世界への貢献を果たす

日本

ブルーエコノミー  
国内市場規模推定

排他的経済水域と  
領海を足した面積

現在は  
約24兆円



# ブルーエコノミーの構成市場は多岐にわたり、経済安全保障に資する領域も複数存在する

## ブルーエコノミーを構成する主要市場

### 既に確立された分野



#### 海洋生物資源

##### 捕獲漁業



##### 養殖業



##### 水産加工業



##### 水産品小売業



### 新興・革新分野

#### 海洋再生可能エネルギー



##### 洋上風力発電 (着床式・浮体式)



##### 海洋エネルギー発電 (波力・潮力)



##### 浮体式太陽光発電



#### 海洋鉱物



##### 深海探鉱



#### 海洋非生物資源

##### オイル&ガス



##### ミネラル



#### 安全保障

##### 海洋安全保障



## ブルーエコノミーを 構成する主要市場



#### ブルーバイオエコノミー バイオテクノロジー

##### 藻・海藻製品 (食品・燃料・化学品等)



#### 海底ケーブル



##### 海底通信ケーブル 海底電力ケーブル (海底送電網)



#### 造船

##### 造船・船舶の修理



#### 輸送

##### 海上輸送



#### 港湾活動

##### 港湾サービス



#### 観光

##### 海洋・沿岸地域の観光業



#### 脱塩



##### 海水淡水化



#### 廃棄物処理



##### 廃棄物リサイクル (陸での固形廃棄物処理)



##### 無排水処理 (陸での液体排水処理)



##### 海中廃棄物処理



# 成長ポテンシャル享受に向けたブルーエコノミー市場攻略には5つの成功要因が存在し、その起点は「世界的な社会課題・社会要請への着目」にある

## ブルーエコノミー市場攻略に向けた成功要因

### 概要

世界的な社会課題・  
社会要請への着目

世界的な人口増加・資源不足を踏まえた社会課題フィールドとしての可能性

サステナビリティ

海の生物多様性保全、海のネイチャーポジティブ推進の必要性

デジタルを中心とした  
テクノロジー活用

海洋事業生産性の向上、ネイチャーポジティブ経済実現の必須イネーブラー

異業種連携

連携レバレッジを通じた経済価値×サステナビリティ価値のスケールアウト

政策・ルール形成

市場ポジションの確立と固定化の仕掛けづくり

### ポイント

陸での不足の補完が不可欠な領域／海からの供給が有効な領域×経済性の変質 = 巨大市場創出

TNFDの開示枠組み提示等により事業の「前提条件化」その先にある「競争優位の源泉化」

個別最適化を排した領域横断・サプライチェーン横断的な横展開と効率化・収益逡増化

事業競争力×サステナビリティ価値競争力×スケラビリティ追求に向けた異業種連携エコシステム形成

自陣営の事業×サステナビリティアプローチのルール化、政策誘導対象化を通じたデファクトポジション形成

成功要因を通じて、経済価値・サステナビリティ価値・スケラビリティ・市場ポジション固定化を同時追求する

# 経済安全保障への貢献が期待され、海からの供給が有効／陸での不足の補完が不可欠な領域が注目領域として想定される

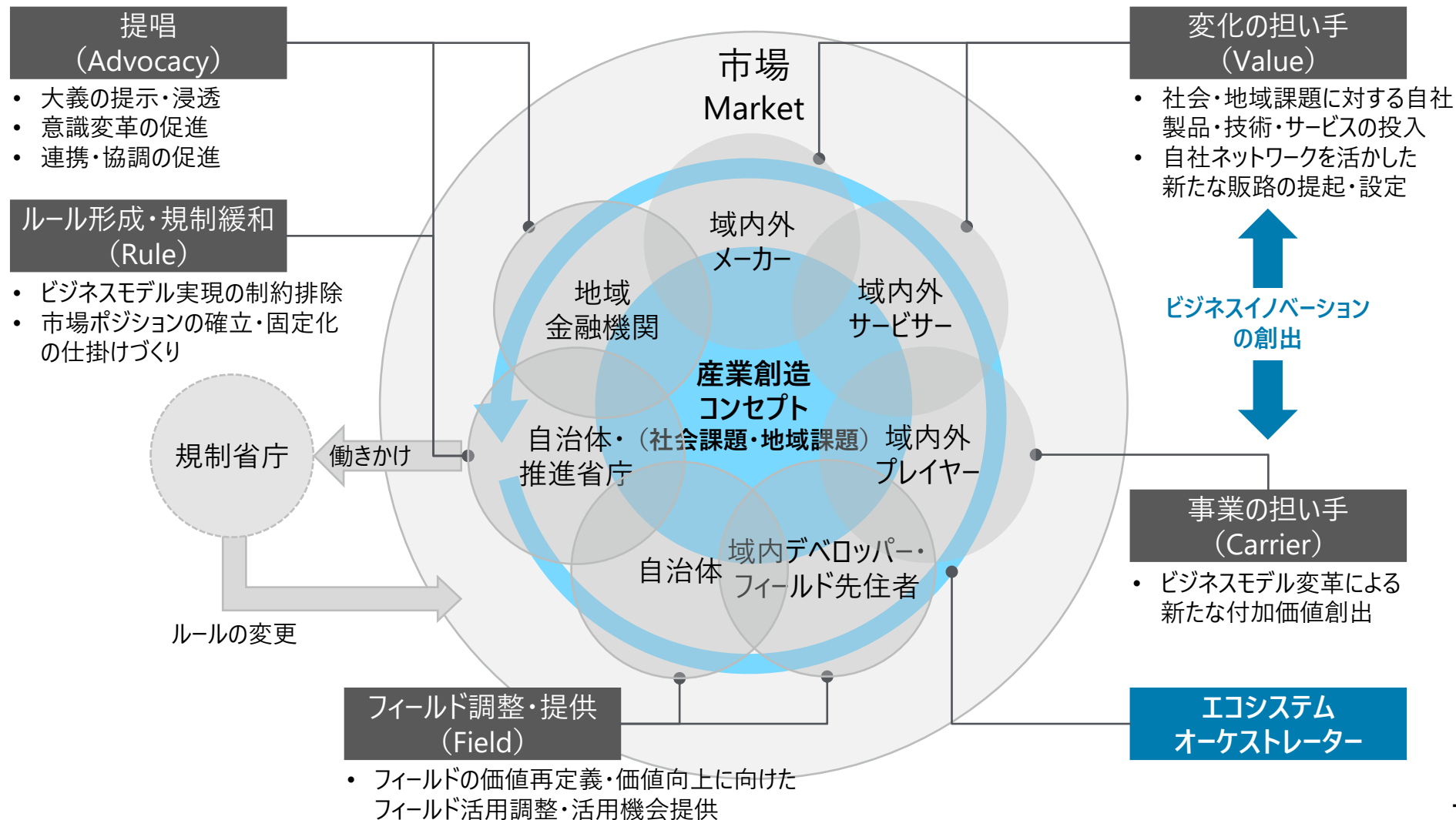
## 注目領域（初期的）

— カテゴリ定義 —      — 対象市場領域 —      — 市場の成長ドライバー —      — 成長の制約条件 —

カテゴリ定義	対象市場領域	市場の成長ドライバー	成長の制約条件		
海の一次産業	食	<ul style="list-style-type: none"> <li>捕獲漁業</li> <li>養殖業</li> <li>藻・海藻製品（食品）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の人口動態 世界人口を支えるたんぱく源、飲み水の不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術革新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>統合資源管理と資源維持</li> <li>適地確保・適地拡大</li> <li>環境影響抑制</li> </ul>
	水	<ul style="list-style-type: none"> <li>海水淡水化</li> <li>排水処理</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>動力コスト最適化</li> <li>排水の環境影響抑制</li> </ul>
海の二次産業	バイオ	<ul style="list-style-type: none"> <li>藻・海藻製品（燃料・原料等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済性の変質の加速化 環境価値向上・鉱物資源の稀少化加速による経済性の変化を通じた市場成立</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>適地確保・適地拡大</li> <li>コスト最適化</li> <li>環境影響抑制</li> </ul>
海の三次産業	エネルギー・資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>洋上・海洋発電</li> <li>深海探鉱</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の経済成長 経済成長を支える海洋物流キャパシティの不足</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>適地確保・適地拡大</li> <li>コスト最適化</li> <li>環境影響抑制</li> </ul>
	輸送	<ul style="list-style-type: none"> <li>海上輸送</li> <li>港湾サービス</li> <li>造船・船舶の修理</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>船員不足対応</li> <li>港湾混雑対応</li> <li>脱炭素化</li> <li>生態系への騒音対応</li> </ul>	

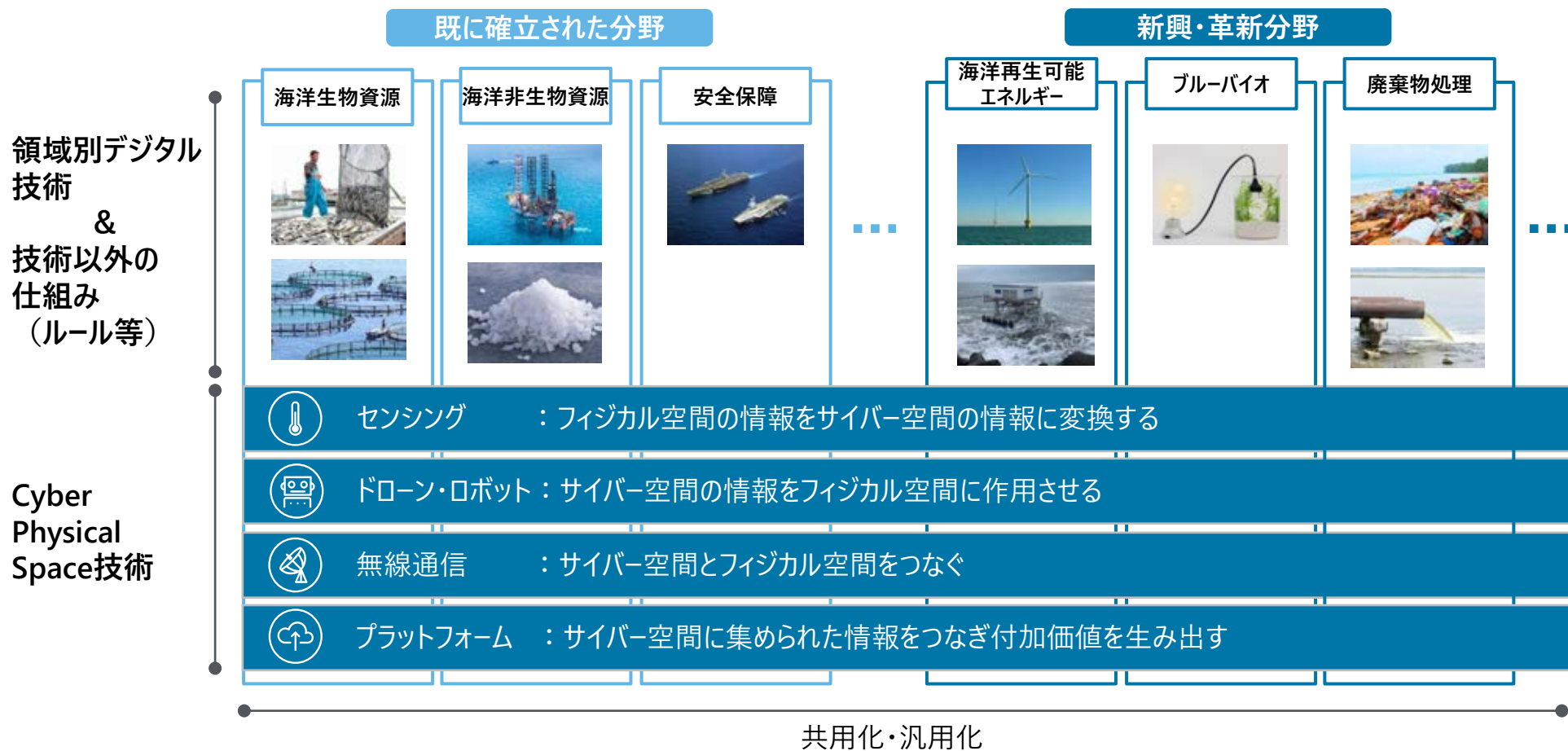
# 社会課題・地域課題に基づく産業創造のコンセプトの下、 内外プレイヤーの参集と連携を通じてビジネスを創出する

ビジネス創出の鍵となる「エコシステムオーケストレーター」(弊社『産業創造/CSV形成フレームワーク』より)



# 各分野の進化を促す領域別デジタル技術×分野横断のCyber Physical Space技術の最適形成・最適構成が、海洋状況把握（MDA）のあるべきモデルである

## ブルーエコノミー関連テクノロジーの基本構造



海に囲まれた島しょ地域である沖縄こそ、パイロットモデル構築の最適地である

## 2. 沖縄が目指すべきブルーエコノミーの方向性

# 海洋経済を超えて、島しょ地域の特徴を活かした独自の経済モデル実現に向けた「沖縄発未来型ブルーエコノミー拠点（沖縄版ブルーエコノミー）」を目指すべき

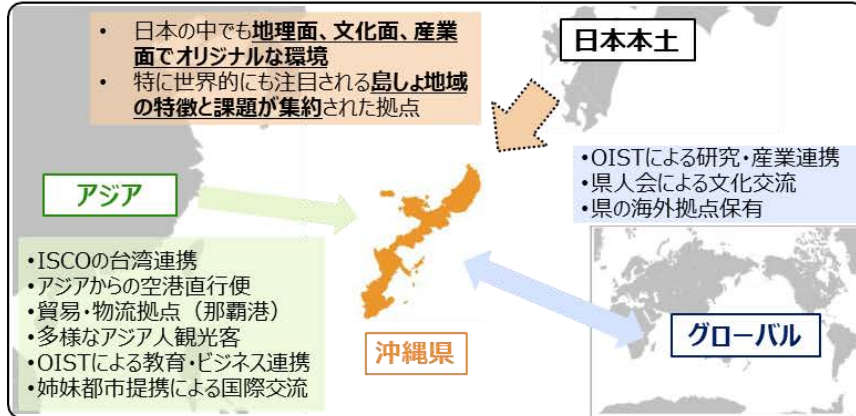
## 沖縄が目指すべきブルーエコノミーモデル（第2期スタートアップ・エコシステム拠点形成計画より抜粋）

### セールスポイント

沖縄から日本とアジア・世界を繋ぐ「万国津梁」として、グローバルイノベーションを起こす“未来型ブルーエコノミー拠点”

### 沖縄県の強み

①グローバルとの連携ポテンシャル	アジアのゲート機能（アジアからの空港直行便等）や海外との親和性（歴史的・文化的）を有し、世界有数の研究機関OISTやISCO、県人会の海外ネットワークにより <b>海外からのリソース誘因が可能なポテンシャルを保有</b>
②先進事例となりうる成長分野	島しょ地域の特徴により閉じられた環境で実証・実験が行いやすく、 <b>ブルーエコノミーの視点では日本また世界でも特徴的かつ先進事例となりうる成長分野が多く存在</b> （※対象成長分野は下部の重点産業分野として記載）
③プラットフォーム・クラスターの存在	産学官金で構成する <b>おきなわスタートアップ・エコシステム・コンソーシアム</b> の存在や <b>国家戦略特区、情報通信産業特別地区や経済金融活性化特別地区</b> などの特例制度を保有



### “未来型ブルーエコノミー拠点（沖縄版ブルーエコノミー）”

未来型ブルーエコノミー拠点は、一般的なブルーエコノミーと異なり、島しょ地域の特徴を活かした沖縄県独自の経済モデルを目指していく。

一般的なブルーエコノミー	海洋資源を持続可能に活用しながら、 <b>経済成長と環境保護の両立を目指す経済モデル</b>
--------------	--

未来型ブルーエコノミー拠点	<b>「海洋経済」に加え、「島しょ地域における優位性・課題解決」を目指すオリジナルモデル</b> <島しょ地域の特徴を活かした取組や方向性例> ✓ 島の閉じた経済圏の活性化、産業構造の偏重/限定的な領域の特化、企業のコングロマリット化/共助体制構築、島しょモビリティ、海+陸の自然保護、災害時のライフライン確保 等
---------------	---

### 沖縄県で経済的インパクトが実現できる重点産業分野

<b>観光</b> 次世代観光体験の創出と持続可能な観光地の形成	<b>ヘルスケア</b> 持続可能性のある文化と技術が育むウェルネス拠点化	<b>エネルギー</b> 災害時の孤立化にも対応できる持続性・自給性のあるライフライン	<b>サーキュラーエコノミー</b> 島の限られた資源で豊かな生活を持続する資源循環技術
-------------------------------------	--	--	---

# ターゲットとして、基幹産業である観光産業における観光体験の高度化、長寿文化に根差したヘルスケアソリューションの先進実装等が挙げられる

## 注力すべき産業領域とその可能性（1/2）（第2期スタートアップ・エコシステム拠点形成計画より抜粋）

### 観光Tourism

#### 方針 次世代観光体験の創造



##### <具体領域1：スマート観光>

- シームレスなモビリティサービスの提供やオンデマンド交通の導入、AIやIoTによる観光客の動線最適化・混雑緩和

##### <具体領域2：エコツーリズム/サステナブルツーリズム>

- 自然環境を保全しながら、地域文化や自然体験を観光資源化
- オーバーツーリズムの可視化・緩和。

クラスター・PF 沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄リゾートワーケーション推進協議会

イノベーション

<スマート観光>【産】CBcloud(手ぶら観光)、Vpon JAPAN/セーフィー(人流データ解析)、KAFLIX CLOUD(レンタカー予約)、Payke(訪日外国人向けプラットフォーム)、Blue Mobility(ヘリコプタータクシー)、ゴールドバリュークリエイション(セルフチェックインシステム)【学】沖縄工業高等専門学校(観光・地域共生デザインコース開設)

<エコツーリズム/サステナブルツーリズム>【産】マナティ(ビーチクリーン)、Endemic Garden H(ネイチャーガイド)【学】OISTマリン・サイエンス・ステーション(環境DNA)、シンク・ネイチャー(琉球大学発/生物多様性可視化・分析)

ポテンシャル(現状) 観光収入：8,507億円  
人泊数：2,595万人泊

#### 今後の成長可能性

##### <国内外の動向を踏まえた成長可能性>

- 車両依存度の高い地域における公共交通対策(人員、環境等)
- オーバーツーリズムの未然防止・抑制への取組

##### <将来像>

- 技術活用による観光体験の向上(滞在日数・消費額の増加)
- 技術活用による人的リソースの最適化(人手不足解消、業務効率化)
- 持続可能な観光地の形成(環境負荷の低減と自然環境の保全)

### ヘルスケアHealthcare

#### 方針 ウェルネスとライフサイエンス



##### <具体領域1：生物資源を活用したバイオ製品開発>

- 沖縄の豊富な生物資源を活用した研究開発や事業化の促進

##### <具体領域2：長寿文化とウェルネス>

- 沖縄の健康的な生活をサポートするソリューションの提供

##### <具体領域3：スポーツ>

- 観戦体験の向上、競技力の向上に向けたテクノロジーの導入

クラスター・PF バイオコミュニティ、沖縄スポーツ関連産業協会

イノベーション

<生物資源を活用したバイオ製品開発>【産】オーピーバイオファクトリー(海洋生物・資源ライブラリー)、ユーグレナ/AlgaleX/SoPors/セルメディカ(藻類からの機能性食品)、沖縄テレビ開発(在来山芋からの機能性素材)

<長寿文化とウェルネス>【産】沖縄セルラー電話(健康サポートアプリJOTOホームドクター)、issin(スマートバスマット)、【学】HerLifeLab(OIST発/フェムテック)、Sage-Sentinel Smart Solutions(OIST発/転倒防止)

<スポーツ>【学】琉球大学(AIによるラート競技の跳び乗り動作分析)、

【産】ヤマップ(登山保険)、琉球アスティーダスポーツクラブ(上場)

ポテンシャル(現状) バイオ関連産業経済波及効果：187億円  
プロ野球春季キャンプの経済波及効果：178億円

#### 今後の成長可能性

##### <国内外の動向を踏まえた成長可能性>

- 世界的な高齢化社会における健康の維持・増進の需要
- スポーツビジネスの高度化・多様化によるビジネス機会の拡大

##### <将来像>

- 世界をリードする生物資源商品ブランドの創出
- 健康長寿文化を有する地域として先行的なテストベッド環境
- スポーツで世界と繋がる国際的なスポーツツーリズム拠点

# ターゲットとして、島しょ型再生可能エネルギーの導入や 食料生産をはじめとした資源循環型経済の確立等が挙げられる

## 注力すべき産業領域とその可能性（2/2）（第2期スタートアップ・エコシステム拠点形成計画より抜粋）

### エネルギー-Energy



**方針** 持続可能なエネルギー技術革新

#### <具体領域1：島しょ型再生可能エネルギー>

- 波力、潮流、太陽光エネルギーといった自然資源とスマートグリッドなどの技術の活用と普及
- カーボンニュートラル達成のためのクリーンテック開発

#### <具体領域2：ブルーカーボン>

- ブルーカーボン生態系の保全・再生技術の確立

**クラスター・PF** ハワイ・沖縄クリーンエネルギーに関する協力協定

イノベーション

<島しょ型再生可能エネルギー> 【産】ゼネシス/商船三井(海洋温度差発電)、ネクステムズ(島しょ型EMS)、Sustech(脱炭素化支援)【学】OIST(波力発電)【官】宮古島市/与那原町(脱炭素先行地域)

<ブルーカーボン> 【産】TOPPANデジタル(モズク養殖でのブルーカーボンクレジット認証)、リテックフロー(琉球大学発/二酸化炭素の海藻への固定化)、HPC沖縄(藻場再生)【学】琉球大学(海藻養殖漁場におけるブルーカーボンの高精度定量化と固定能評価)

ポテンシャル (現状)	再生可能エネルギー電源による供給量：1,031GWh
	再生可能エネルギー電源比率：12.0%

### 今後の成長可能性

#### <国内外の動向を踏まえた成長可能性>

- 再生可能エネルギーの需要向上、先進的なエネルギー技術開発への期待
- ゼロカーボン推進と気候変動に対する対策の重要性

#### <将来像>

- 低炭素で災害に強い島しょ型エネルギー社会の実現
- 先進的なエネルギー技術の社会実装(水素・アンモニアやOTECをはじめとする海洋再生可能エネルギー等)
- 県全体でのカーボンニュートラル達成

### サーキュラーエコノミー-Circular Economy



**方針** 資源循環型経済の実現

#### <具体領域1：循環型農林水産業>

- 気候変動に対応した循環型食料生産等の確立のための農業・畜産業・水産業の技術開発

#### <具体領域2：島しょ型資源循環>

- 島しょ地域に適した資源循環社会の構築にむけ、食品やマテリアルなどの再利用可能な廃棄物の再資源化技術の開発・導入

**クラスター・PF** シェアリングエコノミー協会沖縄支部、OKINAWA SDGs PROJECT

イノベーション

<循環型農林水産業> 【産】ジーオー・ファーム(カキの陸上養殖)、【官】久米島町(クルマエビの陸上養殖)、【学】琉球大学(農水一体型サステナブル陸上養殖)、Kwahuu Ocean(OIST発/イカの陸上養殖)

<島しょ型資源循環> 【産】EF Polymer (OIST発/作物残渣の再利用)、Waqua(小型の淡水化装置)、WALLTEC(農業用ビニールアップサイクル)、Curelabo(サトウキビの繊維の再利用)、【学】Watasumi(OIST発/自立型排水処理装置)、BioAlchemy(OIST発/昆虫等を利用した有機残渣処理)

ポテンシャル (現状)	産業廃棄物再生利用率：48.2%
	陸上養殖届け出件数：168件

### 今後の成長可能性

#### <国内外の動向を踏まえた成長可能性>

- レジリエンス及び安全保障を踏まえた食料自給率の向上の必要性
- 低負荷・循環システムの技術開発への期待

#### <将来像>

- 県内資源循環システムの構築と拠点施設の設置
- 県内での廃棄物/廃プラのゼロ実現、水資源循環と安定供給
- 気候変動対策に関する先進地域としての世界的プレゼンス向上

# グローバル連携、スタートアップ創出及びスタートアップとのオープンイノベーションによる既存産業高度化を目指し、アントレプレナーシップの醸成をコンソーシアムで推進している

## 推進体制と取組の方向性（第2期スタートアップ・エコシステム拠点形成計画より抜粋）



### コンソーシアムの目指す姿

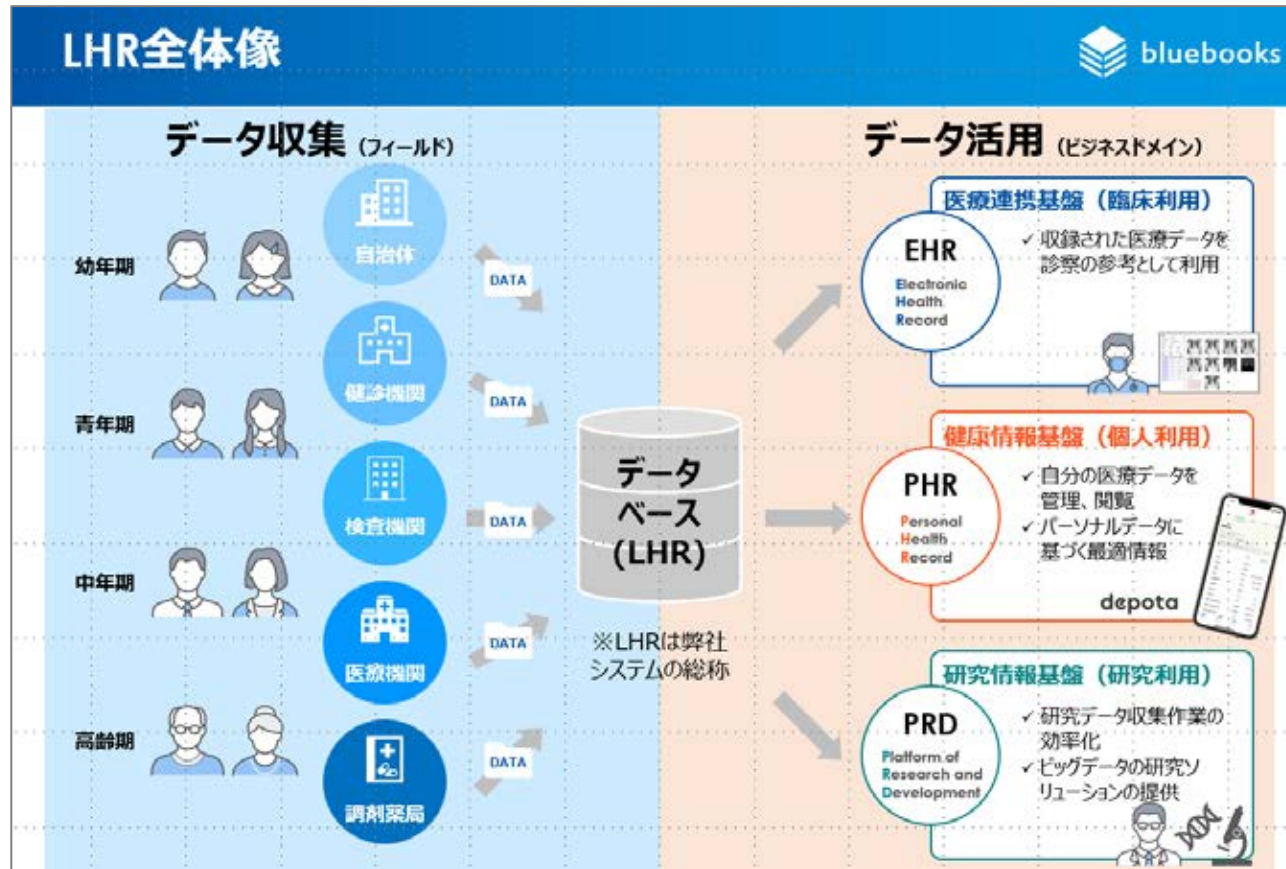
- グローバルのエコシステムと連携し、相互活性化を促進する基盤
- 沖縄におけるスタートアップの創出を促進し成長を加速させる基盤
- スタートアップとのオープンイノベーションを通じた沖縄の既存事業者の高度化を促進する基盤

### 取組の方向性

- 海外からのスタートアップ誘致や外国人起業家が創業・活動しやすい環境の整備、スタートアップの海外展開について検討する部会の設置
- 琉球大学やOISTを中心として、学生向けのアントレプレナーシップ・マインド醸成やポストドク・研究者向けの起業家の創出に向けたアントレプレナーシップ醸成の強化
- 注力する産業領域ごとに、実証実験のサポートを拡充するとともに、沖縄におけるスタートアップのインパクトレポートを広報

弊社は沖縄発未来型ブルーHealth & Medicalとして、(株)ブルーブックス様と共に科学的根拠に基づく「健康長寿復活」・「先進医療・創薬拠点化」・「離島医療の維持」の取組みに着手している

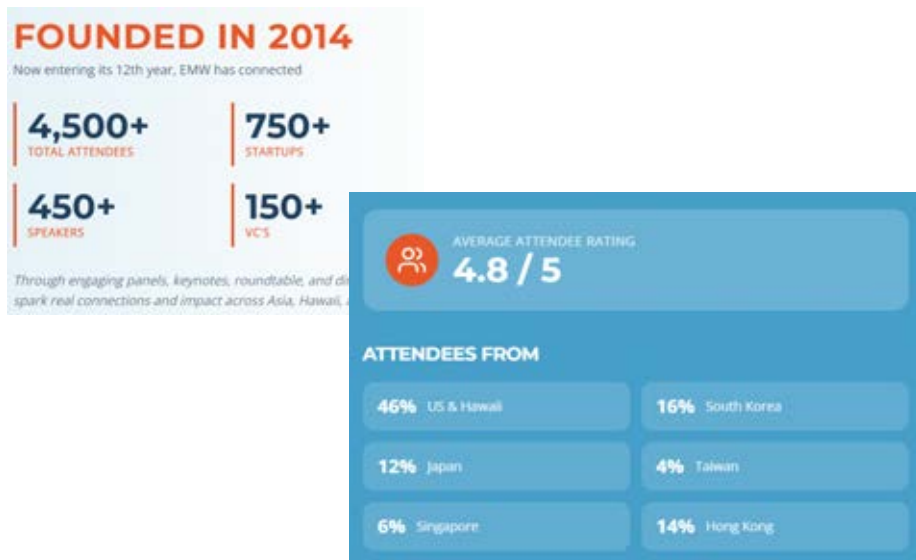
沖縄発未来型ブルーエコノミーへの弊社取組み



医療・健康データの広範な収集と安全・安心な活用を通じた、科学的根拠に基づく医療メカニズムの構築を目指します  
遠隔医療システムを具備することで、離島域を含めた質の高い医療提供モデルの実現を沖縄発で目指します

# ハワイでブルーエコノミーを推進するBlue Startupsは、East Meets Westをテーマにハワイを拠点としたアジアパシフィックのブルーエコノミーネットワーク形成を推進している

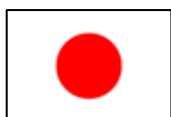
## East Meets West 概要



# 国が推進する17の戦略分野のうち、ブルーエコノミーとリンクする領域に対して、沖縄が先導的な実証フィールドとなり、世界に発信していく展開も期待できる

## ブルーエコノミーを通じたグローバル展開

わが国の注力分野から、沖縄版ブルーエコノミーとして沖縄が牽引できるテーマ・事業を抽出し、重点的に支援



沖縄と関係が深く、欧米のブルーエコノミーを牽引するハワイにおいてプロモーション・事業検討

<p>① AI・半導体 新設 AI・半導体WG 1月～</p> <p>○人工知能戦略大臣 ○経産大臣 ・関係省庁 (NSS、警務、金融、デジタル、総務、外務、文科、厚労、農水、環境、防衛) ・有識者 9名</p>	<p>⑩ 防災・国土強靱化 国土強靱化推進会議 2月～</p> <p>○国土交通大臣 (出席) ・関係省庁 (内閣、防衛、国土交通) ・有識者 19名</p> <p>沖縄版BE注力分野</p>
<p>② 造船 新設 造船WG 1月～</p> <p>○国文大臣 ・関係省庁 (総務、外務、文科、経産、環境) ・有識者 7名</p> <p>BE中心分野</p>	<p>⑪ 創薬・先端医療 新設 創薬・先端医療WG 1月～</p> <p>○科学技術大臣 ・関係省庁 (総務、外務、文科、経産、環境、防衛) ・有識者 12名</p> <p>沖縄版BE注力分野</p>
<p>③ 量子 新設 量子WG 1月～</p> <p>○科技政策大臣 ・関係省庁 (総務 (政務)、外務、文科 (政務)、経産 (政務)、防衛) ・有識者 7名</p>	<p>⑫ フュージョンエネルギー 新設 フュージョンエネルギーWG 1月～</p> <p>○科学技術大臣 ・関係省庁 (総務、外務、文科、経産、環境、防衛) ・有識者 12名</p> <p>沖縄版BE注力分野</p>
<p>④ 合成生物学・バイオ 新設 合成生物学・バイオWG 1月～</p> <p>○経産大臣 ・関係省庁 (総務、外務、文科、経産、環境、防衛) ・有識者 7名</p> <p>沖縄版BE注力分野</p>	<p>⑬ マテリアル (重要鉱物・部素材) 産業構造審議会 製造産業分科会 2月～</p> <p>○経産大臣 (出席) ・関係省庁 (内閣府 (科技)、外務、文科、環境) ・有識者 15名</p>
<p>⑤ 航空・宇宙 新設 航空・宇宙WG 1月～</p> <p>○経済安全保障担当大臣 ・関係省庁 (総務、外務、文科、経産、環境、防衛) ・有識者 10名</p> <p>沖縄版BE注力分野</p>	<p>⑭ 港湾ロジスティクス 新設 港湾ロジスティクスWG 1月～</p> <p>○国土交通大臣 ・関係省庁 (総務、外務、文科、経産、環境、防衛) ・有識者 9名</p> <p>BE中心分野</p>
<p>⑥ デジタル・サイバーセキュリティ 新設 デジタル・サイバーセキュリティWG 1月～</p> <p>○経産大臣 ○デジタル大臣 ・関係省庁 (総務、文科、厚労) ・有識者 11名</p> <p>沖縄版BE注力分野</p>	<p>⑮ 防衛産業 新設 防衛産業WG 1月～</p> <p>○経産大臣 ○防衛大臣 ・関係省庁 (NSS (審議官級)) ・有識者 18名</p>
<p>⑦ コンテンツ 新設 コンテンツ産業官民協議会 1月～</p> <p>○文化庁長官 ・関係省庁 (総務、外務、文科、経産、環境、防衛) ・有識者 15名</p> <p>沖縄版BE注力分野</p>	<p>⑯ 情報通信 新設 情報通信成長戦略官民協議会 1月～</p> <p>○総務大臣 ・関係省庁 (経産、防衛) ・有識者 12名</p>
<p>⑧ フードテック 新設 フードテックWG 12月～</p> <p>○農水大臣 ・関係省庁 (総務、外務、文科、経産、環境、防衛) ・有識者 7名</p> <p>沖縄版BE注力分野</p>	<p>⑰ 海洋 新設 海洋WG 1月～</p> <p>○国土交通大臣 ・関係省庁 (NSS、外務、文科、水産、経産、環境、防衛) ・有識者 10名</p> <p>BE中心分野</p>
<p>⑨ 資源・エネルギー安全保障 GX実現に向けた専門家WG 1月～</p> <p>○経産大臣 ・関係省庁 (総務、外務、文科、経産、環境、防衛) ・有識者 15名</p> <p>沖縄版BE注力分野</p>	

米国cvからのサポートによる成長により、日本の戦略17分野の成長を加速化

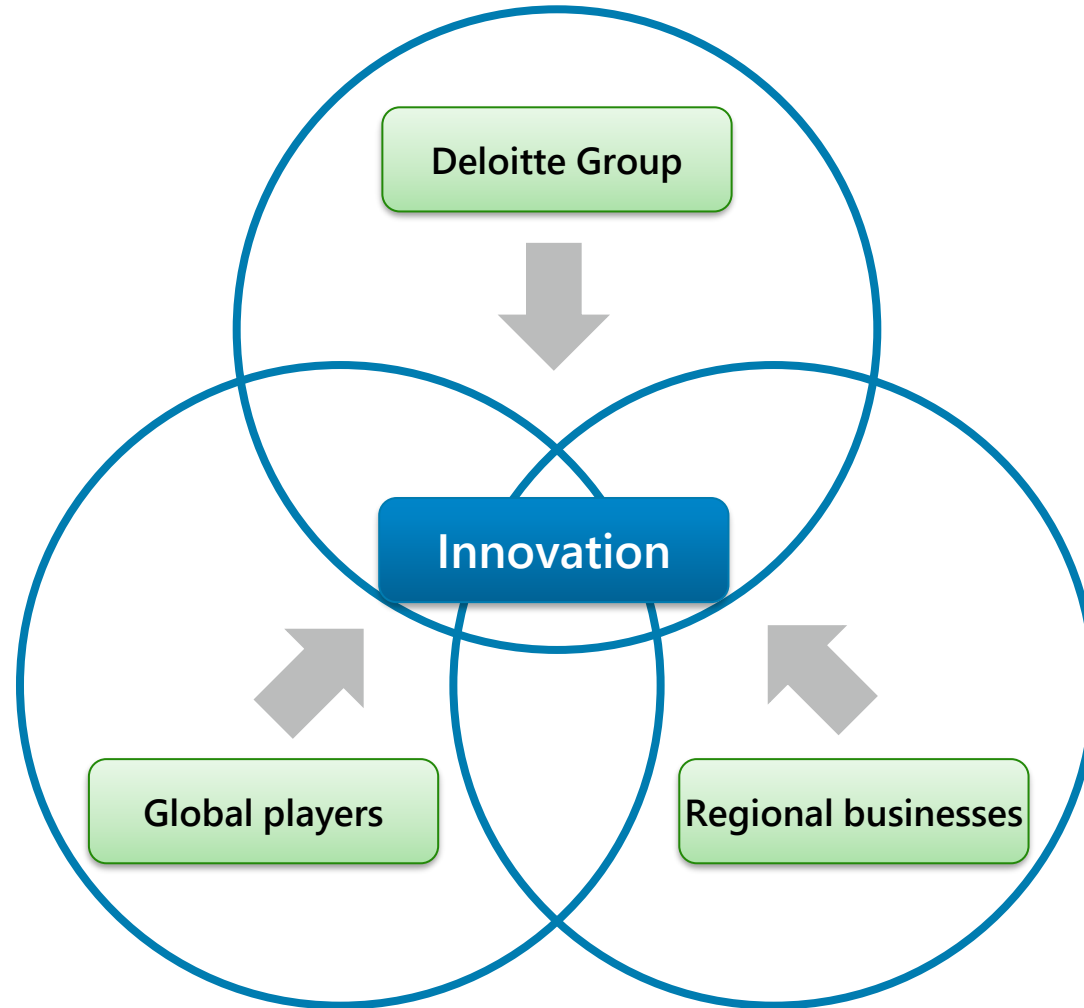


ピッチイベント、本土cvや投資家との接触を通じ、成長可能性のある事業に対する資金提供やノウハウ提供、事業化のサポートを実施

## Appendix デロイトの沖縄における取組

**A platform for co-creation among the Deloitte Group, global players, and regional businesses that propels innovation in line with Okinawa's regional priorities.**

**RSIH Concept**



# Innovation Hub (Other bases)

## [TOKYO] Deloitte Tohmatu Innovation Park

Deloitte Tohmatu Innovation Park

location : Shin-Tokyo Building  
Marunouchi 3-3-1, Chiyoda-ku, Tokyo



### Co-Working

カフェやレセプションカウンターがあるエリアは、多くのソファやテーブルを配したラウンジ空間などがあるリラックスした雰囲気。

### Rental Office

個室とタッチダウンデスクがある、有料会員専用の執務室です。またフォンブースやつながりをもたらしラウンジスペースなどで構成されています。

### Event Space

芝生が一画に広がるオーディトリウムは、ウィラのようなリラックスした空間。集まる人々が交流し、新しいアイデアに結れ、活発なコミュニケーションが生まれる場所。

Deloitte Tohmatu Innovation Park is a new hub developed by Deloitte Tohmatu to provide end-to-end support for next-generation businesses. Leveraging our global perspective and hands-on know-how as business-building experts, we have established in Tokyo's Marunouchi district an environment designed to accelerate growth across industries. Our primary objective is to catalyze co-creation and sustained innovation by bringing together diverse perspectives in a highly connected, organic network. The Park offers the purpose-built spaces, facilities, and capabilities required to make this possible.

Through the innovative ventures launched here, we aim to help address societal challenges and advance a better future together.



# Innovation Hub (Other bases)

## 【TOKYO】 Deloitte Tohmatu Innovation Park

Workplace



conference room



Support



# Innovation Hub (Other bases)

## 【SAPPORO】 SAPPORO Social Innovation Hub

SAPPORO Social Innovation Hub

location : SAPPORO 4-CHOME PLACE

Minami Ichi-jo Nishi 4-1-1, Chuo-ku, Sapporo-shi, Hokkaido



**CONCEPT — Three Guiding Principles of SSIH**  
SSIH is more than a facility.

**A place where challenges become future-shaping opportunities**  
Demographic decline, environmental issues, and well-being—when diverse perspectives intersect, even complex social challenges can be reframed as themes for bold, future-focused action. SSIH designs encounters that translate issue awareness into concrete initiatives.

**A catalyst where industry, academia, and government spark breakthroughs**  
The business capabilities of companies, the research strengths of universities, the public mission of government, and the on-the-ground insights of NPOs—when passions from different domains converge, unexpected breakthroughs occur. SSIH provides the platform that catalyzes these reactions and carries them through to real-world implementation.

**A place where changemakers grow and build sustainable communities**  
Changemakers are people driven to improve society. SSIH nurtures an ecosystem in which social entrepreneurs and startups avoid isolation, inspire one another, and develop into leaders who advance sustainable regional development.

